

令和7年8月吉日
(公財) 富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査課
国土交通省北陸地方整備局
富山河川国道事務所

年代	約三萬年前	約二萬年前	約一萬年前	約七千年前	約五千年前	約四千年前	約三千年前	約二千年前	約一千年前	約五百年前	約四百年前	約三百年前	約二百年前	約一百年前	約五十年前	約四十年前	約三十年前	約二十年前	約十年前	約五年前	約二年前	約一年前	約半年前	約三個月前	約二個月前	約一個月	約一週	約一日	約一小時	約一分	約一秒
	約三萬年前	約二萬年前	約一萬年前	約七千年前	約五千年前	約四千年前	約三千年前	約二千年前	約一千年前	約五百年前	約四百年前	約三百年前	約二百年前	約一百年前	約五十年前	約四十年前	約三十年前	約二十年前	約十年前	約五年前	約二年前	約一年前	約半年前	約三個月前	約二個月前	約一個月	約一週	約一日	約一小時	約一分	約一秒
時代	旧石器時代			縄文時代			弥生時代			古墳時代			古 代			中 世			近 世			近代・現代									
	後期	草創期	早期	前期	中期	後期	晚期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	前期	中期	後期	飛鳥時代	奈良時代	平安時代	鎌倉時代	室町時代	安土・桃山時代	江戶時代	明治時代	大正時代	昭和時代	平成時代				

關係者各位

皆様には、埋蔵文化財発掘調査にあたり、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

遺跡は神通川右岸に形成された段丘上の西縁辺部に位置しています。これまで縄文時代晩期（約3,000年前）の遺跡として知られていましたが、本格的な発掘調査は実施されていませんでした。今回の調査では、主に縄文時代中期前葉（約5,000年前）の遺構・遺物が確認され、これまで知られていたよりも古い時期から人々の生活が営まれていたことがわかりました。

見つかった遺構は掘立柱建物と貯蔵穴群があります。掘立柱建物は3棟確認され、その内の建物1では直径0.8m・深さ0.8m程の大型の柱穴が並び、その外側に直径0.5m・深さ0.3m程の小型の柱穴が配置されています。

貯蔵穴群は調査区の西側に密集して作られています。これらは直径1～2 m・深さ1 m前後の大きな穴で、堅果類（^{けん か るい} ドングリ等）の貯蔵に用いられていたと考えられます。

この他に倒木痕とうぼくこんが多数見つかっていて、出土する遺物から他の遺構と同様の時期の可能性が高いと考えられます。

これらのことから、調査区域の東側を中心に建物が作られる居住域があり、その周りには樹木が生え、さらにその外側の段丘縁辺近くに貯蔵穴群を設けていた様子がうかがえます。当時の暮らしぶりを知る上での貴重な調査成果を得ることができました。

大沢野富山南道路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査は今後も実施してまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



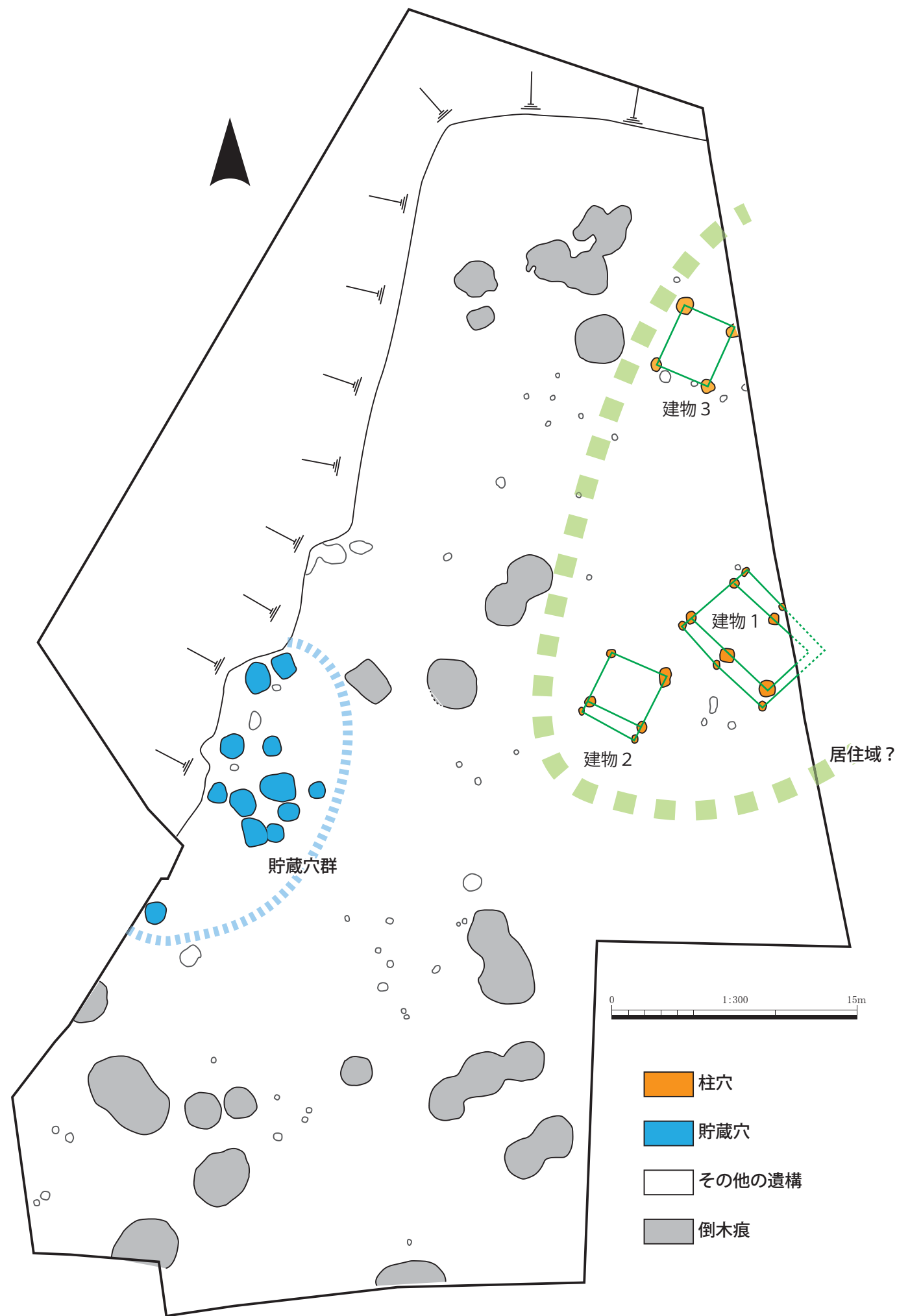
岩木新遺跡と周辺遺跡 (遺跡地図は「富山県GISサイト/地理院地図」を利用し、一部改変)

周辺の主な遺跡

- 1：塩遺跡
(縄文・古代・中世・近世)
- 2：塩沼割遺跡
(縄文・古代・中世)
- 3：中大久保遺跡
(縄文)
- 4：岩木新Ⅱ遺跡
(縄文・古代)
- 5：西塩野遺跡
(縄文・平安)
- 6：岩木遺跡
(縄文・中世・近世)
- 7：岩木砦
(戦国)



調査地区全景（東から）



岩木新遺跡 全体図（1：300）



建物1（北西から）



貯蔵穴群（南東から）



遺構の掘削状況



貯蔵穴の完掘状況



縄文土器



縄文土器



縄文土器（ミニチュア土器）



石鏃（弓矢の矢じり）

情報随時更新中!!

（公財）富山県文化振興財団
埋蔵文化財調査課
のホームページはこちら



富山河川国土地事務所
大沢野富山南道路
のホームページはこちら

